

人間文化研究機構の連携研究「アジアにおける自然と文化の重層的関係の歴史的解明」が平成22年度からはじまった。この研究に参画した研究者仲間との情報交換と、研究の進展を相互に共有するための連絡誌『人と自然』を発刊することとした。各号には特集と連載を組み、自然と文化との多様な関わりを自由かつ大胆に論じることをねらいとした。創刊号の特集は「火」、2号は「音」、3号は「虫」、4号は「天」である。引き続き、皆さま方から本誌への御意見、コメントをお願いしたい。

研究代表：佐藤洋一郎（総合地球環境学研究所）

目次
CONTENTS

特集 天をめぐる人と自然
天と人とのつきあいの歴史

2

古代オリエントにおける星座の起源
近藤二郎

6

【コラム】方言と星—星や星座を表す地方色豊かな言葉
大西拓一郎

7

天と文学
海部宣男

11

天文学と人間
柴田一成

15

【コラム】シリウスとスバル—暦の基準とされた2つの星
中牧弘允

16

流星と日本人—流れ星のイメージ
渡辺美和

20

暮らしのなかの星—星の民俗学
北尾浩一

連載

24

資料紹介①
渡辺 誠

26

都市の中の自然と文化④
神松幸弘

フィールド報告

28

国内◎ 隠岐の島を新たな視点から再発見
—古事記編纂1300年記念フォーラム
「隠岐 自然と文化の再発見」報告
安保博史

30

海外◎ ラオの鎮守の杜—プーター空間の多様性に関する調査
嶋田奈穂子